

九月十五日

複合機能としての「寺」の可能性を考えてみる。これまでも考え続けてきたし、まとめる時期だろう。学生の課題にも出している。税金による公共投資としての建築とは土台が違う、しかも共同体の見えない核になり得るような。

九月十六日

設計の課題に現代の避難所としての寺（聖堂）、ホスピス等の機能の複合施設を課す事にした。敷地は東京女子医大隣の神経精神科棟を含む一帯。リノベーション、コンバージョン、新築共に全て認めるというもの。仏教界、キリスト教界等宗教界の協力を得て、展覧会他の実現に向けて組織化してみようかと、フツと考えついた。

広島の本本君と久し振りに電話で話す。本本君は一人で山の中の作業所で鉄と対面、格闘している。偉いな。私なんかは東京のアブクだな。私だって細々と銅版と絵はやはり続けたい。本本君のたゆまぬ歩み方というのは何が支えになっているのかなと時々考える。本本一之、十牛図の歩みだな。

午後九州〇邸渡辺と打合わせ。松下電器産業富山氏空調打合わせ。地球環境も大変な事になった。打開できるのかなと話し合う。このプロジェクトは各方面のプロフェッショナルが集まったので面白く進められている。

十八時過室内長井氏来室。十月号より始まる連載の打合せ。その他。十月から始まる連載はチョット気合いが入っている。出だしは、ミッキー・スピレイン風にやってみた。古いネー、我ながら、今更、マイク・ハマーだものね。しかし、今更この年で、どうなったっていいんだもんね、の覚悟なのだ。李祖原に読ませたいものだ。二〇時より、近江屋でスタッフと一息つく。